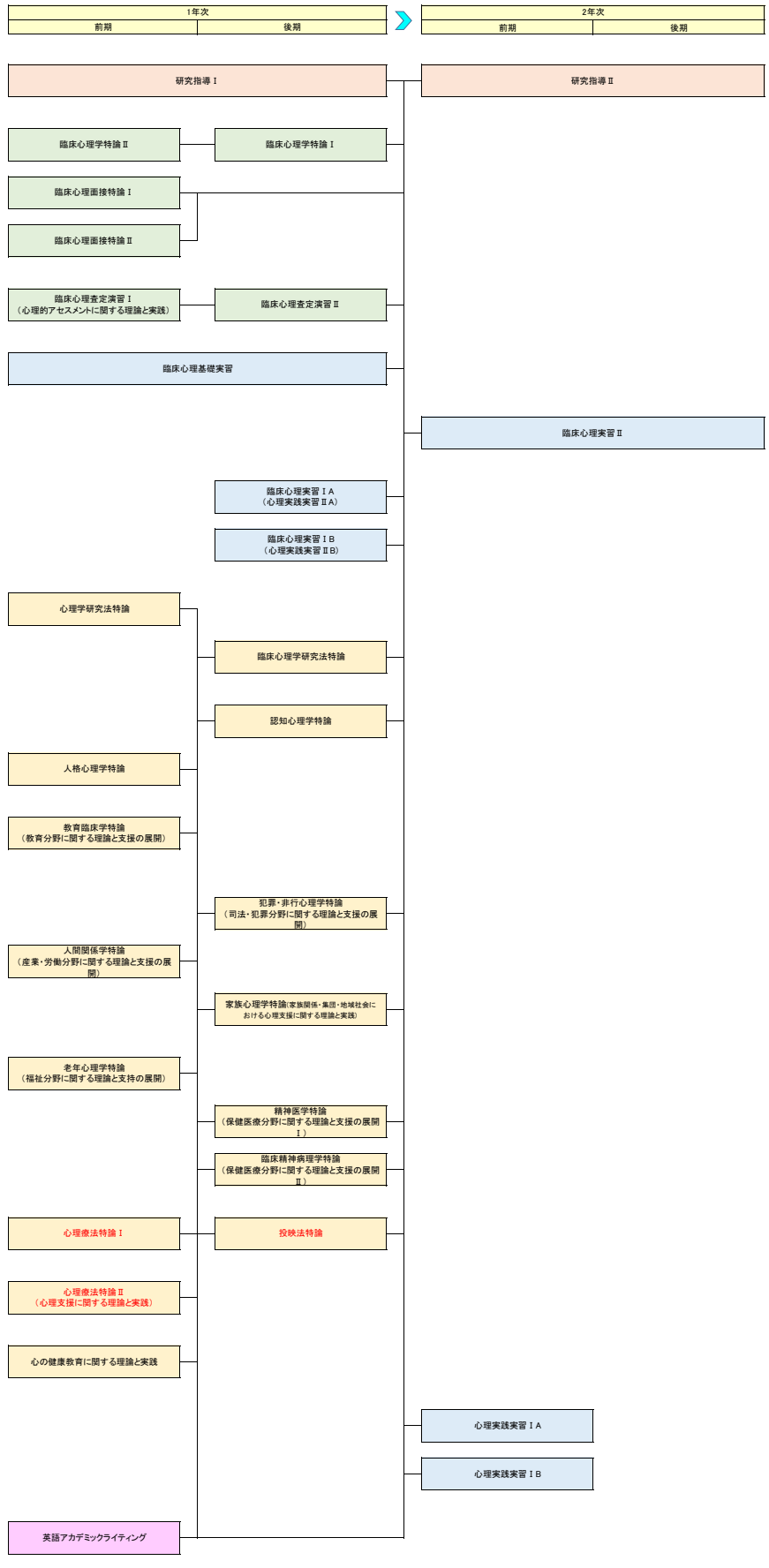


科目区分	科目区分に特に対応するDPの修得すべき資質・能力
I 研究指導	2. 心理学的研究能力 心理学に関する研究課題を自ら設定し、専門的知識や技法を用いて、心理学研究方法の技法を使い、研究倫理を踏まえて、研究をすることができる。
II 必修科目	1. 基礎的素養と専門的知識・技法・姿勢・態度・倫理 臨床心理学を含む心理学全般の基礎的素養と専門的知識、技法、姿勢・態度、倫理を修得している。 3. 広い視点を持った実践 社会の変化(多文化や多様性の共生社会を含む)に伴う要請や各種職種の要請に対応できるよう、多次元に渡る広い視点から実践することができる。 4. 知識・実践・研究の融合 心理学の専門的知識、心理的実践活動、そして心理学研究の3領域を互換的に統合することができる。 5. 現場での支援活動の展開 心理アセスメントと心理療法を行い、こころの問題への援助、こころの健康の援助、家族関係の援助、福祉の援助、発達援助、矯正の援助、臨床的地域援助、災害・被害への援助、心理的・社会的適応の支援(チームアプローチ、多職種連携、地域連携などを含む)などのいずれかを実践できる。
III 選択必修科目	2. 心理学的研究能力 心理学に関する研究課題を自ら設定し、専門的知識や技法を用いて、心理学研究方法の技法を使い、研究倫理を踏まえて、研究をすることができる。
A群	
B群	1. 基礎的素養と専門的知識・技法・姿勢・態度・倫理 臨床心理学を含む心理学全般の基礎的素養と専門的知識、技法、姿勢・態度、倫理を修得している。
C群	1. 基礎的素養と専門的知識・技法・姿勢・態度・倫理 臨床心理学を含む心理学全般の基礎的素養と専門的知識、技法、姿勢・態度、倫理を修得している。
D群	1. 基礎的素養と専門的知識・技法・姿勢・態度・倫理 臨床心理学を含む心理学全般の基礎的素養と専門的知識、技法、姿勢・態度、倫理を修得している。
E群	3. 広い視点を持った実践 社会の変化(多文化や多様性の共生社会を含む)に伴う要請や各種職種の要請に対応できるよう、多次元に渡る広い視点から実践することができる。
IV 選択科目	3. 広い視点を持った実践 社会の変化(多文化や多様性の共生社会を含む)に伴う要請や各種職種の要請に対応できるよう、多次元に渡る広い視点から実践することができる。 1. 基礎的素養と専門的知識・技法・姿勢・態度・倫理 臨床心理学を含む心理学全般の基礎的素養と専門的知識、技法、姿勢・態度、倫理を修得している。 5. 現場での支援活動の展開 心理アセスメントと心理療法を行い、こころの問題への援助、こころの健康の援助、家族関係の援助、福祉の援助、発達援助、矯正の援助、臨床的地域援助、災害・被害への援助、心理的・社会的適応の支援(チームアプローチ、多職種連携、地域連携などを含む)などのいずれかを実践できる。
V	2. 心理学的研究能力 心理学に関する研究課題を自ら設定し、専門的知識や技法を用いて、心理学研究方法の技法を使い、研究倫理を踏まえて、研究をすることができる。
F群	



2021/7/7
暫定版

赤文字部分が修正箇所

DP カリキュラムマップに対応済